

第2次黒部総合振興計画審議会

第4回第5部会【教育・文化】

議事概要

日時：平成29年8月1日（火）10:00～

場所：黒部市役所 203 会議室

出席者：委員 6 名（欠席 1 名）、専門委員 1 名（欠席なし）

幹事 2 名（欠席 1 名）、計画主任 5 名（欠席なし）、事務局 4 名

次第

1. 開会
2. 部会長あいさつ
3. 報告事項
 - (1) 前回審議会以降の経過について
 - (2) 各委員からの意見・提言について
4. 協議事項
 - (1) 基本構想（継続審議事項）について
 - (2) 前期基本計画素案について
5. その他
6. 閉会

主な発言（検討）内容

○：委員からの質問・意見、●：事務局の意見・回答

部会長あいさつ

○部会長：蒸し暑い日が続いており、梅雨明けが待ち遠しい。第4回部会にご出席いただき感謝申し上げます。本日の部会は基本構想の継続審議に関する事項と前期基本計画素案について審議いただく。活発な意見を通して、黒部市の未来創造に向けて、各委員のご協力をいただきたい。

報告事項

(資料1：前回審議会以降の経過について、
資料2：各委員からの意見・提言について、事務局より説明)
委員からは特に意見なし

協議事項

(資料3：基本構想(継続審議事項)について、事務局より説明)

- A委員：用語説明について、P5に空欄があり、この空欄を利用して、第1次～第3次産業についての説明が入らないか。
- 事務局：検討し、掲載する方向で調整したい。
- A委員：「障がい者」の表現については、P15、P18のアンケートグラフ内の表記のみ、「障害者」となっている。統一すべきではないか。
- 事務局：統一した表記(障がい者)としたい。
- A委員：P41の教育・文化について、P15の上に、「や」の後に「、」がある。「、」が必要なのか、不要なのか。
- 事務局：P41については「や」が二重に使われており、今後再確認したい。
- A委員：P41の交通拠点の下から2行目、「機能的に結びつけることで…」の「方々」は適切か。検討いただきたい。

(資料4：前期基本計画素案について、事務局より説明)

(5-1 家庭教育の充実)

- B委員：P2の学習プログラムについては、図として提示していただいております、分かりやすいと思う。ただ、できればホームページのURLも載せれば良いのではないかと。
- A委員：子育て相談の充実においても、「や、」があるのでご検討いただきたい。
- 部会長：これまでの主な取組の、「女性団体の活動支援」は具体的に何か。
- 事務局：お母さんを通じて家庭教育を推進してもらいたいと働きかけてきたということで記載している。
- C委員：P1の「今後においても、地域のふれあい活動の場のさらなる充実により、家庭が共に体験できる環境づくりが必要です。」は順番が逆ではないか。体験できる環境づくりがなされて、その後にふれあい活動の場が充実されるのではないかと。
- D委員：人口減少については県の審議会でも議論されている。人口減少の対策として、親子で家庭教育の中で郷土愛の話をすることで、やがては自分のふるさとに帰ってきて

てもらえるようになってもらいたいと考えている。

- 部会長：D委員の指摘内容について、家庭教育に関して、記載できるスペースがあれば、入れ込んでどうか。
- 計画主任：P2の学習プログラムのタイトルについて、「親を学び伝える…」と「を」を追加させてもらいたい。

(5-2 学校教育の充実)

- 部会長：P3の下から5行目の空白を詰めてもらいたい。
- C委員：P4「外部指導者の活用」、「保護者等からなる…」と「等」を追記すべきである。
- 部会長：D委員が心配されていた食育については、反映されているので現在の内容で良いのではないか。
- C委員：P5の「学校名変更に伴う改修」とはどのようなものか。
- 事務局：4つの中学校が2つになることで、校区の見直しや校章の直し、条例の改定などを「改修」と表現させていただいている。
- 部会長：「改修」の表現とは乖離があるのではないか。再検討すべきでは。
- C委員：P5の指標（「学校へ行くのが楽しい」と感じている児童の割合）の「児童」は、「児童・生徒」とすべきではないか。
- 事務局：今回は小学校のみを対象としたアンケートであるため、現状では「生徒」を追加するのは適切ではない。生徒も含めた指標とできるか、検討させてもらいたい。
- A委員：P3の写真について、このままでいいのか。
- 事務局：工事中の写真なので、差し替える予定である。

(5-3 青少年の健全育成)

- C委員：P7「健全育成を推進して必要があります。」は「推進していく」を追記すべき。
- A委員：「振興会」は「自治振興会」とすべき。

(5-4 生涯学習の推進)

- 部会長：P10の「複合施設内の新図書館への図書資料の充実」はくろべ市民交流センターのことではないのか。固有名詞を記載する必要はないのではないか。
- 計画主任：「複合施設内の」を削除したい。
- C委員：P10のメッセージの「公民館など」は、ルールに沿うのならば「公民館等」とすべき。
- 部会長：生涯学習サークルは減ってきているように思うが、増加する目標を達成することができるのか。
- 計画主任：ご指摘のように、サークル数は減少傾向にあるが、市民カレッジの講座を

開催することで、今後のサークル数を定着・充実させていきたいと考えている。

(5-5 芸術文化の振興)

- 部会長：黒部市美術館は指定管理になってから、利用者は増えているのか。
- 計画主任：現状維持程度である。
- 事務局：有名な絵本作家が来たときは来場者数が増えた。美術館の来場者数は H27 で 3,200 人であったのに対し、H28 年度は 6,000 人と増えている。
- E 委員：これまでの主な取り組みの「等」のスペースが多い。
- 事務局：確かに違和感がある。検討したい。
- D 委員：文化財の保護に関して、獅子舞について、どの地区も小学生がいないので担い手が不足している状況にあり、一方で地域に縁が無い人が獅子舞を踊りたいというニーズもあるため、地域をまたいだ保存活動を展開できないのか。
- 計画主任：獅子舞は地元の子供たちが担うことがこれまでの決まりであるため、他地区の人が活動するのは難しいのではないか。
- D 委員：荒俣地区の獅子舞について、村椿地区全体で支えるなどの工夫がないと維持できない。
- 計画主任：稚児舞については、それぞれの地区の事情に応じて対応している。

(5-6 スポーツの振興)

- A 委員：P14 の「スポーツ推進員」は「委員」ではないか。
- C 委員：「スポーツイベントなど」は「等」とすべき。

(5-7 国際化への対応)

- 部会長：「姉妹都市交流や、」について「、」は不要ではないか。
- A 委員：「や」を取れば、「、」はあっても良いのではないか。
- F 委員：国際交流団体とは。
- 事務局：国際交流を経験した団体や、企業（YKK）、各学校など、黒部市が独自に指定している国際交流を進めている団体のことである。
- D 委員：交流事業に関して、女性を海外へ派遣する事業について、県からの補助がなくなった。海外に行くのは遊びに行くといったイメージがあるが、県や市からの補助をもらった上で派遣された場合、向上心や責任感が産まれる。しかしなぜ女性だけが海外に行くのかという意見もあり、現在は無くなっている。市や県の職員も海外を見てくるべきである。私はイギリス、スペイン、オランダなどの 6 か国に行かせてもらった。できればこれまでのように市の応援をいただきたいと常々思っている。
- F 委員：初めて海外に行ったときに、自身の視野が広がったのを覚えている。中学生などの最も多感な時期に機会を与えてあげるべきではないかと思っている。

○D委員：ヨーロッパの統一された街並みなど、まちを統一的にドレスアップする取り組みを積極的に進めることで、黒部市が光っていくのではないかと考えている。

(資料 4-2)

○C委員：P1の家族体験について、「公民館親子」との表現があるが、どういう意味か。

●計画主任：「公民館における親子の…」などの表現としたい。

○C委員：「子供たち」の表現は、他と統一すべきでないか。

●事務局：「子どもたち」で統一したい。

○部会長：では、その他について事務局より説明をお願いしたい。

(次回の部会について、事務局より説明)

○部会長：その他意見はないか。無いようであるので、進行を事務局にお返しする。

●事務局：8月24日(木)の14時より、第4回審議会(全体会)を開催する予定である。ご参加いただきたい。

●事務局：資料3(基本構想)と資料4-1(基本計画)について、基本構想で了承をいただければ、9月議会で議決されることとなる。基本計画は9月議会で中間報告をした上で、パブリックコメントを実施し、12月議会での議決を行う予定である。

閉会

●事務局：以上をもって、第4回部会を閉会する。

以上